シリーズ
探訪・探究
第七回

訪れたいまち×富山県氷見市

能登半島の東側付け根部分に位置する富山県氷見市は、水産都市として全国に知られている。最近、「食」と「まんが」という、ちょっと意外なテーマでまちづくりを進めていると聞き、訪れてみました。

氷見漁港には、天然のいけすと呼ばれる富山湾から多くの種類の魚が一年を通して水揚げされる。冬の「寒ブリ」は代表格。漁港内にある道の駅「氷見フィッシャーマンズワーフ海鮮館」も、きときと（北陸地方の方言で新鮮などを意味する）の魚を求める観光客で大賑わいだ。

ここ数年、東海北陸自動車道など氷見市と中京圏が高速ネットワークで結ばれたこともあり、海鮮館への来館者も大幅に増加した。しかし、直接には市全域への誘客に結びついていない。そこで、「買い物客」が「観光客」になって気軽にまち歩きを楽しんでもらう。そんな仕掛けづくりを進めている。

「食はもとより、美しい海や里山、温泉など見所が沢山あります。魚だけではない氷見の魅力も感じてほしい」。氷見市商工観光課主査の舛田建治さんが話す。

世界に誇れるまんが文化

中心地を歩くと、目に飛び込んでくるのは、漫画「忍者ハットリくん」のモニュメント。「まんがロード」と名付けられた通りには、ポストの上にハットリくんが。また、道の両側に魚のキャラクターが並ぶなどにぎやかだ。氷見とハットリくんは、どんな関係があるのだろうか。

実は、ハットリくんの生みの親である藤子不二雄Ⓐ氏が、氷見市出身なのだ。藤子氏の生家である光禅寺には「怪物くん」や「笑ゥせぇるすまん」などの石像も設置されている。また、氏の作品を展示する潮風ギャラリーには、複製原画がずらりと展示され、見応え十分。

アニメブームの影響もあってか、海外からの観光客も多い。「まちなか巡り」として藤子作品に出会えるツアーも好評だ。まんが文化の発信拠点とし

て、「オリジナルのまちづくり」への挑戦を続けている。楽しげな空間には、まんがを誇りに思う気持ちが込められていた。

伝統の食から新しい氷見ブランドの誕生

ランチはなにを食べようか。朝獲れ地魚か、はたまた氷見うどんか。ふと、「氷見カレー」というのぼり旗が目に付く。氷見でカレー？

その理由を、飲食店を経営する土居博さんが説明してくれた。

土居さんは衰退する商店街に、危機感を感じていた。なんとか人を呼び込みたい。そんな時、誰にでも愛される、お手軽なカレーが思い浮かんだ。しかし、そんなもので人が呼べるのかと、周囲は半信半疑。土居さんは商店街を説得して回り、他のご当地カレーも研究するなど、あきらめずに地道な働きかけを続けた。

そうした情熱に、協力者が増えていく。氷見の食文化をどう表現するのか試行錯誤を重ね、ついに平成20年に16店舗が試作品を持ち寄る。広辞苑にも掲載されるほど名高い「氷見鰯」。その煮干しを使うルールも確立した。

「例えば、イタリアンの店で煮干しを使ったカレーの料理を出す。普段、カレーを提供していない店も試作品を作ってくれた。涙が出るほど、うれしかったですよ」。土居さんの苦労が実を結んだ瞬間だ。今では市内の21店舗でカレーを提供し、食のイベントにも1万人超の客を呼び込むなど、氷見の新ブランドとして着々と成長している。

氷見市は「鮮魚のまち」という強力なブランドがある。しかし、独自の魅力がないと、観光客は、「鮮魚が買える他の地域」に流れてしまう。その危機意識こそが、新しい観光の流れをつくっている。まんがという独自の文化の発信、また、カレーという新しいご当地グルメで、伝統の氷見の食材をも押し上げていく。

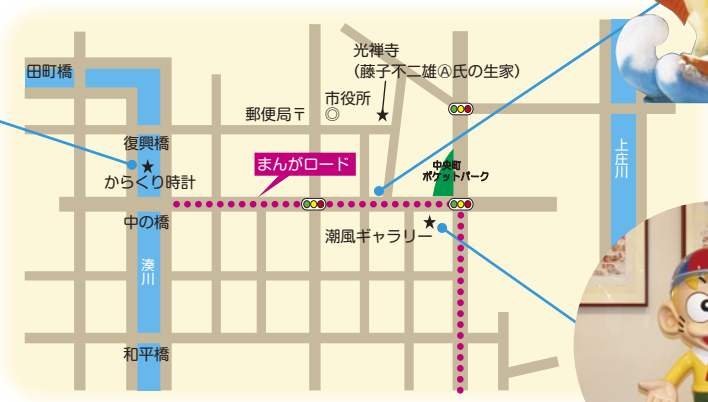
地域全体で魅力あるまちを目指したい。訪れた人に、いつだって驚きを提供したい。そんな願いがつまった「きときと」のまちだった。

カレーによるまちおこしプロジェクト団体「氷見カレー学会」会長の土居さん。
氷見を「食」によってアピールしたいという強い信念をもって活動している。

レストラン、食堂、居酒屋、パン屋などお店の個性を活かしたオリジナルカレー。
各店の味を食べ比べするのも楽しみ。

市街の中心部を流れる湊川には「忍者ハットリくん」と仲間たち7体のキャラクターのカラクリ時計が。朝9時から夜7時（夏季は夜9時）まで、1時間ごとにファンタジックショーをくり広げる。（冬期は休止）

藤子不二雄Ⓐ氏作の「氷見サカナ紳士録」。8種類・16体のサカナ紳士が点在している。



「ハットリくん」、「怪物くん」、「プロゴルファー猿」など多数の藤子不二雄Ⓐ氏の作品が展示されている潮風ギャラリー。
「トキワ荘」の部屋のイメージ再現もあり、藤子ワールドの雰囲気が伝わってくる。

魅力ある観光地として

国土交通省は、自然、歴史、文化等において密接な関係のある観光地同士が連携し、2泊3日以上の滞在型観光に対応出来るよう魅力を高めようとする区域を観光圏として認定しています。
今回の氷見市は、「越中・飛騨観光圏」として、平成22年に認定されています。

氷見市ホームページ	http://www.city.himi.toyama.jp/
氷見市観光情報サイト	http://www.kitokitohimi.com/
氷見カレー学会	http://www.ccis-toyama.or.jp/himi/overview/himicurry/index.html